野鳥観察

概　要		鳥の姿や鳴き声を手がかりに、スズメやカラス以外の野鳥を探させ、フィールドスコープや双眼鏡を使って、野鳥の姿や特徴を詳しく観察させる。
ねらいとして 考えられること		① 野鳥を観察することを通して、鳥への興味・関心を高めることができる。 ② 野鳥の生態や生息環境を観察することを通して、鳥と自然との関わりについて理解を深めることができる。 ③ 野鳥や自然に親しむことを通して、自然を大切にする心や豊かな感受性を育むことができる。
対　象		小学校低学年から
人　数		80名程度
場　所		駐車場からアスレチック広場周辺
時　間		1時間程度
指導員		自主活動
活動時期		通年
経　費		なし
事前に準備確認するもの		野鳥に関する資料、メモ帳、筆記用具　　※必要であれば、双眼鏡等要相談
引率者の役割	活動前	① 所員と活動の所要時間や指導内容について確認する。 ② 参加者にトイレを済ませるよう指示する。 ③ 活動開始５分前までに所定の場所に整列させ、人員点呼を行う。 ④ 活動内容や注意事項について説明する。 ⑤ 参加者を活動場所へ移動させる。
	活動中	① 野鳥を驚かせないよう、できるだけ音を立てずに静かに活動させる。 ② フィールドスコープや双眼鏡などの用具を丁寧に扱わせる。
	活動後	① 所定の場所に整列させ、人員点呼を行う。 ② 貸出用具を回収する。 ③ 活動を振り返らせる。 ④ フィールドスコープは引率者が片付ける。
安全上の留意点		海側の下方には民家があるため、石などを投げさせないよう徹底する。
その他		 